

MOHOLY-NAGY IN MOTION

視覚の実験室

モホイ=ナジ/イン・モーション

2011年7月20日[水]-9月4日[日]

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]
The National Museum of Modern Art, Kyoto

開館時間: 午前9時30分-午後5時
[金曜日は午後8時まで開館。入館は閉館の30分前まで]

休館日: 月曜日

主催: 京都国立近代美術館、毎日新聞社

後援: ハンガリー共和国大使館、日本建築学会、日本デザイン学会

協賛: 郵便事業株式会社、ミサワホーム

協力: モホイ=ナジ財団、日本貨物航空株式会社

助成: 日本美術振興財団
MOA ART FOUNDATION

企画協力: 株式会社アールアンテル

観覧料:

当日 一般1300円/大学生900円/高校生500円
前売り 団体[20名以上] 一般1100円/大学生700円/高校生300円

※中学生以下、障がい者手帳等お持ちの方と付添者[1名]は無料。
[入館の際に証明できるものをご提示ください]

※本料金でコレクション展もご覧いただけます。
※前売券はチケットぴあ[Pコード764-637]、ローソンチケット[Lコード54240]ほか

主要プレイガイド、コンビニエンスストアなどで販売 [販売期間: 5月20日-7月19日]

巡回情報: 神奈川国立近代美術館 葉山 2011年4月16日[土]-7月10日[日]
DIC川村記念美術館 2011年9月17日[土]-12月11日[日]





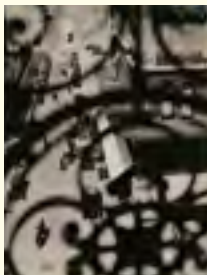
1



2



3



4



5



6



7



8

20世紀美術に「新しい視覚(ニュー・ヴィジョン)」をもたらしたハンガリー出身の芸術家、モホイ=ナジ・ラースロー(1895-1946)*の全体像を紹介いたします。構成主義の美術家・写真家、バウハウスの教師として知られるモホイ=ナジは、20世紀前半の前衛芸術運動に参加して「光と運動による造形」という創作理念を確立し、ハンガリーからウィーンへ、そしてドイツ、オランダ、イギリスを経てアメリカへと、自らも世界の都市を移動しながら、多様な造形・教育活動を行いました。

絵画、写真、彫刻、映画、グラフィック・デザイン、舞台美術と多岐にわたる活動は、芸術と工業技術の関係性、情報伝達やコミュニケーションの問題といった、20世紀美術が直面した重要な課題を提示しています。伝統やジャンルにこだわらずに同時代の新しい素材や主題に取り組んだモホイ=ナジの仕事は日本でも早くから紹介され、1930年代の新興写真運動をはじめ、瀧口修造との交流を通じて、戦後は「実験工房」の芸術家たちに大きな影響を与えました。

本展は、多数の貴重な未公開作品を含む遺族所蔵のコレクションを中心に、ハンガリー時代の絵画、キネティック彫刻の代表作《ライト・スペース・モデュレータ》、カメラを使わない写真技法「フォトグラム」、アメリカ時代のカラー写真など、国内外の美術館から集められた約300点の作品・資料によってモホイ=ナジの仕事を展望する日本で最初の回顧展です。その多くが国内初公開となります。表現の可能性をいまなお新鮮に、未来に向けて訴えかけるモホイ=ナジの世界を、ぜひご覧下さい。

*作家名について：欧米の主流である「ラースロー(名)・モホイ=ナジ(姓)」という従来の呼称に対し、本展ではモホイ=ナジの出自であるハンガリーの姓名順と発音に従って表記しています。

- 1.《風景》1918年 ハトゥラ・モホイ=ナジ・コレクション
- 2.《無題》(版画集「ケストナーマップ6:構成」より)1923年 富士ゼロックス株式会社
- 3.モホイ=ナジ・ラースロー著 「絵画・写真・映画(バウハウス叢書8) 1925年」川崎市市民ミュージアム
- 4.《フカン(街)》1929年 東京都写真美術館
- 5.《ラップランド婦人(フィンランド)》1930年 東京都写真美術館
- 6.《無題》(フォトグラム fgm132)1925/29年 東京都写真美術館
- 7.《赤のカラーージュ》1921年頃 ハトゥラ・モホイ=ナジ・コレクション
- 8.モホイ=ナジ・ラースロー 1926年頃 (画像提供:ハトゥラ・モホイ=ナジ)
- 9.《ライト・スペース・モデュレータ》1922-30/2006年 ハーバード大学附属プッシュ=ライジンガー美術館
- 10.《抽象的コンポジション》1923年 富士ゼロックス株式会社

すべて©Hattula Moholy-Nagy



9

◎国際シンポジウム「モホイ=ナジ再考」

2011年7月23日[土]午後1時-5時
講師・パネリスト:パシュート・クリスティナ[エトヴェシュ・ロランド大学(ブダペスト)大学名誉教授]、オリヴァー・ポーター[マントバ大学准教授、カナダ]、井口壽乃[埼玉大学教授]

*通訳付き
助成:公益財団法人ポーラ美術振興財団

【関連イベント】

◎特別講演「ベンヤミンとドイツ近代映画」

8月19日[金]午後5時-6時30分
講師:仲正昌樹[金沢大学教授]

上記シンポジウム、特別講演はいずれも

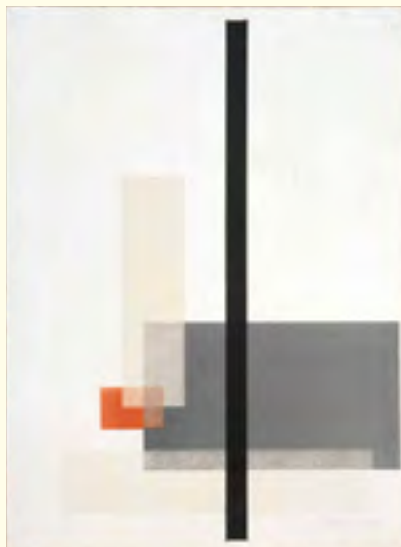
会場:京都国立近代美術館1階講堂
定員:100名(聴講無料 当日開始時間の1時間前より受付にて整理券を配布します)

◎写真ワークショップ:「カラーージュ→フォトグラム→??」の実験

8月28日[日]午前10時-午後3時(休憩あり)
会場:京都国立近代美術館1階講堂
定員:20名(要事前申込)

◎京都造形芸術大学 一般公開講座 フォトグラム写真講座

8月6日[土]、7日[日] 全2回
主催・会場:京都造形芸術大学、京都国立近代美術館
・お問合せ、お申込:
京都造形芸術大学 瓜生山エクステンションセンター
TEL(075)791-9124
<http://www.kyoto-art.ac.jp/general/>



10

◎NFC 所蔵作品選集 MoMAK Films@home

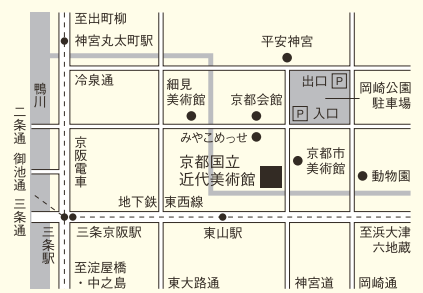
【実験映画上映】
8月19日[金]午後7時-、20日[土]午後2時-
上映作品、各スケジュールについてはHP
[www.momak.go.jp/films/]をご覧ください。
会場:京都国立近代美術館1階講堂
料金:1プログラム500円
主催:京都国立近代美術館、
東京国立近代美術館フィルムセンター

【同時開催】

◎curatorial studies 5「シカゴバウハウスの写真家たち」
4階コレクション・ギャラリーにて会期中ご覧いただけます

◎イチハラヒロコ「新内新」プレイルーム。2011

会期:7月26日[火]-9月11日[日]
会場:1階ロビー
*上記イベント等の詳細はHP [<http://www.momak.go.jp/>]
をご覧ください。



【交通】

- ・JR・近鉄京都駅前[A1のりば]から
市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- ・JR・近鉄京都駅前[D1のりば]から市バス100番[急行] 銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- ・阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から
市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- ・阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅から
市バス46番 平安神宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- ・市バス他系統「東山二条」又は「京都都会館美術館前」下車徒歩約5分
- ・地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分
- ・お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場[地下]をご利用の
有料入館者は駐車場の割引[1台1人]を受けられますので
駐車券をお持ちの上お越しください

【お問合せ】

京都国立近代美術館[岡崎公園内]
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
電話:075-761-4111
テレホンサービス[展覧会のご案内]:075-761-9900
ホームページ:<http://www.momak.go.jp>